

第2回地方創生会議・検証部会における論点について

論点1:三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略の4年間の成果と課題について

【ポイント】

- これまでの地方創生の取組の進捗状況をふまえ、どのような成果があったと捉えるか。
- 人口動態をはじめとする本県の現状やこれまでの進捗状況をふまえ、今後注力していくべき課題は何か。

資料1-1:「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」における成果と課題について

資料1-2:4年間の重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

資料1-3:人口動態等三重県の現状を示す参考データ

論点2:次期総合戦略の策定における具体的な取組と基本的な取組方向について

【ポイント】

- 次期総合戦略では、時代潮流や国の動向もふまえ、新たにSociety5.0、SDGs、高等学校等における人材育成、関係人口の創出・拡大、地域交通、多文化共生、グローバル化(海外から稼ぐ地方創生)についても、検討する必要があると考えるが、展開していくにあたり、具体的にどのような取組が必要であると考えるか。
他に検討が必要な項目はあるか。
- 現総合戦略では、自然減対策として12の取組方向を、社会減対策として、9の取組方向をそれぞれ掲げているが、自然減対策と社会減対策との一体化や、これまで細分化されていた取組方向をよりわかりやすい形に整理するという観点から、再編を検討しているが、どのような視点で再編していくべきか。

資料2-1:「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の次期計画の策定について

資料2-2:国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に向けての基本的な考え方

資料2-3:「三重県まちひとしごと創生総合戦略」基本的な取組方向